

名古屋大学大学院環境学研究科・教授 公募選考要項

1	募 集 件 名	教授の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学大学院環境学研究科 地球環境科学専攻（大気水圏科学系） 地球環境変動論講座	
4	募 集 内 容	[職務内容] 地球環境変動論講座では、環境学研究科の文理融合の取り組みを進めるために、他専攻と連携しながら研究・教育を行うことをミッションとしており、地球環境がこれまでどのように変動してきたかを理解し、今後、人間活動が加わることでどのように変わっていくかについて明らかにするための教育研究に取り組んでいます。 本人事においては、大気水圏科学系他講座（気候科学、物質循環科学、地球水循環科学）と連携して、フィールドにおける物理的もしくは化学的な観測または分析により、地球環境の変動を明らかにする教育研究に取り組みながら、環境学研究科の全ての専攻との連携を視野にいたした教育研究を進められる人材を求めます。 また、次世代の研究者・高度専門職業人の育成に意欲を持ち、長期的な視点に立って、博士後期課程をはじめとする大学院および学部教育に意欲的に取り組む人材を求めます。	
		[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 教授（任期なし） 1 名	
		[着任時期] 2026 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	環境解析評価およびその関連分野、地球惑星科学およびその関連分野
		小分類	環境動態解析関連、大気水圏科学関連
6	勤 務 形 態	常勤 契約期間：期間の定めなし	
7	応 募 資 格	1) 博士の学位を有すること。 2) 地球環境変動および関連する研究分野において、優れた研究実績を持ち、当研究科の教員と連携して、分野横断的な教育研究の推進にも貢献できること。 3) フィールドにおける物理的もしくは化学的な観測・分析による教育研究を実施できること。 4) 当研究科の中長期ビジョンである地球規模課題への対応と新たな知の創造に貢献する教育研究を行えること。 5) 国際的な連携研究の実績と意欲があること。 6) 大学院および学部教育（実験・野外実習等を含む）活動を行えること。 7) 日本語及び英語で講義や学生指導ができること。	
8	待 遇	・ 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・ 給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm	

		・専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止。
9	応募期間	2025 年 6 月 6 日 ～ 2025 年 7 月 31 日（必着）
10	応募・選考 結果通知 連絡先	応募する方は下記の応募書類を作成してください。 ・応募書類 1) 履歴書（形式自由、連絡先とメールアドレスを記載すること） 2) これまでの研究と教育の概要（1000 字程度） 3) 業績目録 以下の 4 つのカテゴリーに分けて記載する。 - A 査読のある原著論文 - B 査読のない原著論文 - C 著書・その他の出版物 - D その他（受賞歴、教育、学会活動、社会貢献、国際共同などの実績など） 4) ResearcherID 5) 競争的資金の獲得実績（制度名、代表・分担の別、金額等を記載すること） 6) 今後の研究・教育の計画（1000 字程度） 7) 主な論文（3 編以内）の DOI 8) 所見を求めうる方 2 名の氏名、所属、連絡先 9) 類型該当性の自己申告書（「11. みなし輸出について」を参照） 上記 1)～9)を PDF ファイルとして作成し、下記の(a)～(c)のいずれかの方法により提出してください。 (a) 下記の問い合わせ先に記載の電子メールアドレスへ添付書類（10MB 以下）として送信する。 (b) ファイルをダウンロードできるサイトに掲載して URL を電子メールで連絡する。 (c) 当方が指定するサイト（URL は問い合わせること）にアップロードする。 問い合わせ先： 地球環境変動論講座教授候補者選考委員会委員長 中塚武 e-mail: nakatsuka.takeshi.m0@f.mail.nagoya-u.ac.jp [選考内容（選考方法、採否の決定）] 書類審査の後、必要に応じて面接を行う。面接実施者には連絡の上で日程調整を行う。採否の結果は原則として電子メールで連絡する。
11	みなし輸出 について	・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員の機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募への応募の際には「類型該当判断のフローチャート」に基づく「特定類型該当性の自己申告書」（様式 1）の提出が必要となります。フローチャートや特定類型該当性の自己申告書は以下からダウンロードしてください。 https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/NqFfpNCbZxjDWNZ ・なお、採用が決定した場合は、「誓約書」の提出が必要になります。
12	その他	・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。

	・ 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・ 面接に要する交通費は支給しません。 ・ 本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダー・ダイバーシティセンター Web サイト：https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言：https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・ 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
--	--